

## 『橋野鉄鉦山の森（稼働時代の森づくり）』

11月13日に、釜石市橋野町内にある橋野第一国有林357林班において、釜石市主催の森林整備が実施されました。この森林整備は、世界文化遺産に認定されている、「明治日本の産業革命遺産」を構成する遺産の一つである「橋野鉄鉦山」を後世に受け継いでいくために、「橋野鉄鉦山郷土の森保護協定」などに基づき毎年行われており、当日は釜石市職員や当署職員を中心に、合計17名が参加しました。

作業は、橋野鉄鉦山内の二番高炉跡周辺の斜面に倒れている倒木を中心に、景観を損なう恐れがある枝葉の処理を行いました。約1時間半と限られた時間での作業となりましたが、参加者全員で協力し合って作業を進め、最終的には軽トラック5台分にも及ぶ倒木を処理することが出来ました。その甲斐もあってか、作業終了後に現地を見回してみると、来た時よりも高炉跡が映えて見えるような気がしました。

今回のイベントでは、斜面の倒木を処理するということもあり、刃物の使用や、コケで滑る重い丸太の運搬など危険な作業でしたが、一人ひとりが安全作業を心がけた結果、怪我無く終了させることができました。

産業革命による機械化や製品の大量生産は、経済発展をもたらした一方で労働環境の変化でもありました。私たちが安全に作業できるのも、先人達の労働の安全化への努力と改善の積重ねがあったからこそです。そのような先人の知恵や教訓の偉大な足跡を感じながら、橋野鉄鉦山の森を整備し子々孫々へ受け継いでいきたいと思えます。



開会式の様子



作業の様子

三陸中部森林管理署 釜石森林事務所  
森林官 南坂 拓杜

～余談～

11月13日は、語呂合わせから「いい遺産の日」、2月13日は「日本遺産の日」とされており、そこに合わせてイベントやシンポジウムが行われているそうです。日本には26件の世界遺産の他に、文化庁で指定している日本遺産というものもあります。いずれの遺産も歴史の積み重ねにより築き上げられ今日に至っています。これを機に身近なところにどんな遺産があるか調べ、その歴史に思いをはせてみてはいかがでしょうか。